

## 受賞おめでとうございます 兵庫県のじぎく賞



東条湖おもちゃ王国(代表 橋本匡史さん)今年でオープン8年目を迎える東条湖おもちゃ王国が、永年続けられている社会福祉貢献活動が認められ兵庫県のじぎく賞を受賞されました。

東条湖おもちゃ王国では、児童福祉施設の児童や母子・父子家庭の児童、震災遺児を王国に招待し1日楽しんでいただく活動を毎年続けられています。

## MOA美術館児童全国作品展入選



岸本 詩音さん(吉井)

(財)MOA美術・文化財団主催の全国規模の児童美術展(応募総数約40万点)において、見事

入選を果たされました。

岸本さんは、同財団小野支部の作品展で最優秀賞にあたるMOA美術館奨励賞を2年連続で受賞、全国作品展に出展され今回の受賞となりました。

## 目指すはオリンピック!



磯部 涼香さん(社)

2月28日に長野県で開催されたタイガー・サハラカップ第26回J S B A全日本スノーボード選手権大会のユース女子の部デュアル・スラローム競技で、見事2位に輝きました。

磯部さんは、他の大会でも優秀な成績を収められており、「将来はオリンピック選手に」と大きな夢を話してくれました。

## 力を合わせて全国制覇へ 社柔道少年団



グリーンアリーナ神戸で開催された「兵庫柔道グランプリ2008」において、社柔道少年団のみなさんが3年連続、4度目の優勝を果たされ、5月に東京・講道館で開催される全日本少年大会へ出場されます。

## 加東の夢を乗せて～日本丸の絵画寄贈～

船の絵を専門に描かれ、個展を開かれるなど活躍中の服部武司さん(屋敷)から、日本丸を描いた絵画を寄贈いただきました。

服部さんは、「加東市もこの帆船のように、大きく風を受けて未来へと進んでもらいたいという願いを込めています。」と話されています。

いただいた絵画は、みなさまに鑑賞していただけるように、やしろ国際学習塾に展示しています。



## 健康管理の強い味方～兵庫教育大学院生から寄贈～

このたび、平成19年度兵庫教育大学院修了生のみなさんから、修了記念としてパルスオキシメーター(体内酸素飽和度測定器)を寄贈いただきました。

代表として寄贈に訪れた瀧川さん、越山さんのお2人は、「少しでも市民のみなさんのお役に立てるものを寄贈したかった」と話され、市長から「市民の健康づくりに役立てます」と感謝が述べられました。



## みんなで使ってね!～米田小学校から寄贈～



3月12日、米田小学校児童会のみなさんからケアホームかとうに加湿器2台とドライヤーを寄贈いただきました。これは、児童のみなさんや校区内の地域のみなさんが学校に持ち寄られたアルミ缶リサイクルの収益で購入いただいたもので、毎年、福祉関係施設に寄附を続けてこられました。

ケアホームかとうを利用される方々が元気にお過ごしいただけるように、大切に活用させていただきます。

## 100歳おめでとうございます

3月19日、安井はるゑさんが満100歳を迎えられ、市長からお祝いの品が贈られました。

甘いものが好きな安井さん。どうぞこれからもお元気で過ごしてください。



## 観光モニターツアー大盛況!



3月4・6日に、市外の方を対象に加東市をPRする「加東市観光モニターツアー」を行いました。

このツアーは、加東市観光協会発足を記念した事業で、両日で110の方が参加され、播州清水寺や闘竜灘、酒蔵などを見学、手作りのラベルを作成するなど加東市の魅力を味わっていただきました。

## みんなでスリムになりました!～サンサンチャレンジ表彰式～

昨年10月から始まった「3か月で3kgやせる市民大運動(サンサンチャレンジ)」が終了し、3月8日に表彰式を行いました。

式では、3か月で3kg減量を達成された方をはじめ、独自のユニークな取り組みでチャレンジされた方々にも、目標達成に関わらずそれぞれに賞を贈らせていただきました。

また、「笑って得する!リバウンドしないコツ」と題した市民公開講座も開催し、メタボを完全に脱出するコツをみなさまに覚えていただきました。

これからも市民のみなさまの健康づくりのためにさまざまな事業を推進していきます。



## 地域の宝を地域で守ろう



3月8日、東条農業者連合が主催する東条農業セミナーが開催されました。

当日は、山田錦の栽培や販売に関する戦略、小規模農家や山間農家の保持育成などに関して事例発表やパネル討議が行われ、これからの農業について有意義な意見交換が行われました。

## ふるさとを巡る音楽ツアー

2月24日から約1か月をかけて「加東音楽めぐり」を開催しました。

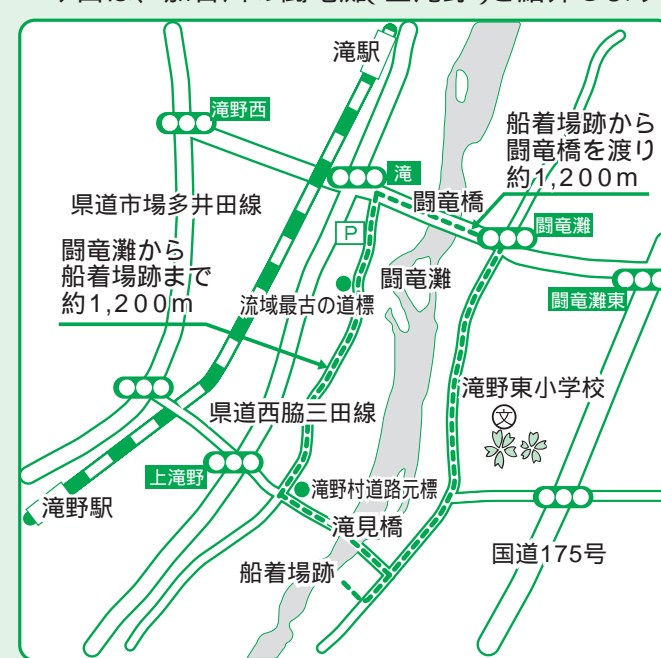
市内の公共施設や一般のお店でさまざまなジャンルの音楽会を開催し、市民のみなさまに、より身近に音楽を感じていただくという初めての試みでした。



音楽会は全20公演。どの公演も大勢のみなさまに参加いただき、音楽を楽しんでいただきました。これからも文化の香り溢れるまちづくりを目指します。

## 加東遺産を歩こう⑥

健康づくりのためのウォーキングコースとして、加東遺産をご紹介しますシリーズの6回目です。今回は、加古川の闘竜灘(上滝野)を紹介します。



## 闘竜灘と鮎漁

闘竜灘は加古川の河床一面に奇岩が起伏し、古くから文人墨客に称えられた景勝地です。加古川舟運の中継地として栄え、播磨内陸の物資と文化の玄関口でした。また、「算漁」というこの地独特の鮎漁が生み出され、5月1日の日本一早い鮎漁解禁のニュースは全国に発信されています。

今回紹介するのは、闘竜灘から新町の船着場跡へ向かうコースです。

闘竜灘駐車場から南へ50mほど歩くと「右たんば左のま谷」という加古川流域で最古の道標を見ることができます。さらに700m南下した交差点にある「滝野村道路元標」を見て、左折すると滝見橋があり、船着場跡の看板が現れます。高瀬舟が往来した船着場跡はふるさとの歴史を静かに語ってくれます。帰りに加古川左岸を北上し闘竜橋を渡れば、橋中央の歩道テラスから闘竜灘を一望することができます。

鮎漁の解禁や鮎まつりが行われる5月は、闘竜灘が最も賑わう季節です。

